

第 183 回ペン川柳（お題＝下がる・下げる）令和 1 年 7 月 26 日

世話人：塚田 實（^だだ々）

（*印は今月の互選六句、*は最優秀句）

1. 下げたかと先祖見に来る盆提灯（晃二＝安藤）→ 2 票
お盆の季節ですね。先祖はいつまでも子供たちが先祖をちゃんと祀っているか心配なのですね。
2. 傘サラし頭下げるは家の中（酔雅＝西川）→ 1 票
会社でペコペコ頭を下げていた人も、ふんぞり返っていた人も、皆さんそうなのではないでしょうか。
- * 3. 古亭主払い下げますおまけつき（火酒＝三春）→ 6 票
元句の下五は「無料にて」だったが、やはり持参金付きくらいで払い下げちゃう方がおもしろいと「おまけつき」に変更。さてどんなおまけを付けるかな。こぶつきもあるかな。文句なしに最優秀句。
4. 税上げて景気は下がる日本死ね！（損得＝細谷）→ 0 票
「保育園落ちた、日本死ね！」からもう何年も経ちました。消費税上げをひかえての力作でした。作者としてはこちらがレコードで言えば A 面で項番 11 が B 面の心算でしたが、こちらは 0 票、11 番は 4 票を得て、互選句に選ばれました。複雑な気分だったそうです。
- * 5. 徳利を下げた狸もセクハラか（不言＝岩崎）→ 6 票
狸の置物と言えは信楽焼が有名です。さて、この川柳からどれだけの人が、実際の姿を思いつくでしょうか。特に若い人には何のことやらサッパリかも。
6. エース下げ健康科学で名を上げる（晃二＝安藤）→ 3 票
高校野球岩手県大会の決勝で佐々木投手を投げさせなかったことが話題になりました。世の中は賛否両論ありました。名を上げたのは佐々木投手を投げさせなかった監督の方かな。
7. シルバータウンバスも減便地価下がる（井波＝稲宮）→ 1 票
高齢化の進んだ住宅地では活気も利便性も失われています。若い人は一軒家よりも都心のタワーマンションを好むと聞きます。これからの大きな社会問題ですね。同じ問題は日本のあちこちで起きています。
8. 血圧も下げる値に程遠い（だし＝大野）→ 0 票
高血圧に悩む人が多いようです。でも頑張りましょう。医学は日進月歩です。「下げる目標」でしょうか。

9. ええじゃないか行け行けドンドンで下がる (安兵衛=山縣) → 0 票
「ええじゃないか」は江戸末期に広まった騒動。伊勢神宮のおかげ参りとは違います。バブルの頃2番目までの「行けドン」は良かったが、3番目の「ドン」でバブルが弾けてしまった。今一つひねりが欲しいところ。
10. ジジ馬鹿は目尻を下げて自慢する (拿々=塚田) → 3 票
最初の下五は「孫自慢」だったが、「ジジ」と「孫」が重なって勿体ないとして訂正。「孫」とは別の材料の自慢でも良いかもしれない。
- * 11. また災害頭が下がるボランティア (損得=細谷) → 4 票
B面が見事選ばれた。川柳とは言い難いが、社会的良心に心打たれた川柳子によって選句となりました。
12. 謝罪とは頭を下げず泣くことや (選句明迷=八木) → 2 票
最近は毎日のようにテレビで吉本問題が論じられ、タレントと経営陣が謝罪を繰り返しています。経営陣まで泣き出すとはどういうこっちゃ? 「謝罪=泣き」が安値な手法になりそうで情けない。
13. 半額に下がるシールで御菜(おかず)決め (明迷=八木) → 2 票
ちょっとわびしいが生活感が溢れている。「そんなこと当たり前でしょ、我家では空きっ腹を抱えて午後7時の値下げ待ち」という声も。
14. 株下がり年金減って音を上げる (我々好=浜田) → 0 票
最初の中七下五は「年金減るも酒値上げ」だったが、酒値上げの実感が伝わらず、上記のように修正。みんな音を上げながらも、頑張っています。
15. 五十面下げた昔を懐かしむ (酔雅=西川) → 3 票
作者の年が分からない、分かると大議論、結局原案通りで落ち着いた。50歳というのは会社生活でも一番華やかな歳ですね。
16. 下げた株何時まで待とうホトトギス (だし=大野) → 2 票
株投資は本当に難しいですね。でも作者はきっと儲けていたはず。「泣かずとも5年は待てるホトトギス」でしょう?
17. 血圧が上がる下がるも妻次第 (零門=松谷) → 3 票
元句は「血圧が上がる下がるのカギは妻」。奥様が見ても大丈夫かなという川柳子面々の心配をよそに、作者は「ちゃんと奥様の承認済みさ」と気配りもバッチリ。
- * 18. 鰻重の写真ぶら下げ握り飯 (火酒=三春) → 5 票
7月27日は土用の丑の日でした。正にタイムリーな川柳です。しかし、作者がそこまで貧窮していたとは!?! いずれにしても情景がまざまざと浮かび、互選句に。
- * 19. 京歩き上がる下がるで道迷い (拿々=塚田) → 3 票
京都は他に「西入る」や「東入る」があり、はがきなど住所は二行で収まらずはみ出すことが多い。決選投票で互選句に選ばれました。

20. お隣りは情が条文食い下がる (井波＝稲宮) → 1 票
元句の上五は「補償しろ」だったが、作者の説明を聞くまでは何のことを言っているのか理解できなかったが納得。「条文」は「条約」のこと。この問題早期解決に期待したい。
21. ええカッコ見せたつもりが男下げ (不言＝岩崎) → 1 票
これも元句の上五は「いい恰好」だったが、くだけて「ええカッコ」のほうが読み手に伝わりとの評で変更。
22. 支持率は株を上げてても下がるだけ (安兵衛＝山縣) → 1 票
元句は「支持率は株を上げれば下がらない」だったが、参議院選挙を終えて、議論百出。結局上記のように訂正。
23. 小遣いも男も下がり濡れ落葉 (我々好＝浜田) → 1 票
中七は「男も下げられ」だったが、字余りなので「男も下がり」に訂正。「濡れ落葉」は表現的には古くなったかなとの意見あり。
- * 24. 「頭が高い」下げられませんメタボ腹 (零門＝松谷) → 5 票
よく分かりますね。太極拳の作者はメタボには見えませんが。世話人もじっと下を見ました。

出席 12 名 = 西川武彦 (酔雅)、稲宮健一 (井波)、山縣正靖 (安兵衛)、安藤晃二 (晃二)、細谷博 (損得)、浜田道雄 (我々好)、松谷隆 (零門)、八木信男 (明迷)、平尾富男 (酔深：投句なし)、三春 (火酒)、塚田實 (拿々)、池田隆 (特別参加)

欠席投句 2 名 = 大野昷 (だし)、岩崎洋一郎 (不言)

◇ 8 月以降の日程とお題は以下の通りです。

8 月 23 日(金)「汗」、9 月 20 日(金)「稲」、

10 月 30、31 日 (遠征予定)「落ちる・落とす」、11 月 29 日 (金)「鍵」

12 月 20 日 (金)「餌・えさ・エサ」、1 月 31 日 (金)「燃える・燃やす」